

パラリンピアンの日常生活からバリアフリーを考える

年

組

番 名前

最初に考えよう

社会の中で、バリアフリーのための工夫には、どんな設備や施設しせつがあるだろう。
⇒下の表の左側に書こう。

バリア

しょうへき
障壁

フリー

を生み出す原因を

1 映像 初めの映像を見よう

2 考えよう

バリアフリーの設備や施設について、その目的が果たせない状態になるのは、どんな場合だろう？
⇒自分が書き出したものに対応させて、表の右側に書こう。

考える
ヒント

最初に考えよう

バリアフリーの設備や施設

その目的が果たせない状態になってしまう場合

例：入り口にスロープを設置している

例：スロープの前に自転車ちゅうりんが駐輪ちゅうりんされていて、車いすを使う人などが通れない

3 映像 続きの映像を見よう

4 考えよう

思い込みや先入観などの気づきにくいバリアを減らすには、どうすればいいだろう？

考える
ヒント

共生社会とは

年齢、性別、人種、障害の有無などに関わらず、すべての人の基本的人権が尊重され、支え合い、誰もが生き生きとした人生を送ることができる社会を「共生社会」という。
『I'mPOSSIBLE』日本版では、誰もが生き生きとした人生を送るためには、誰でも公平公正に自分の意思で選択できることが不可欠と考えている。



5 映像 まとめの映像を見よう

ふりかえり

授業をふりかえって、気づいたこと、考えたことを書こう。

自分で学習する
サイトはこちら